

授業科目 医療福祉サービス評価法Ⅱ

【担当教員名】 一戸 真子	対象学年 4	社会
	開講時期 前期	選択
	単位数 2	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
ヘルスケアサービスは原則として利用者中心に提供されるべきであるということはいふまでもない。同時に、ヘルスケアサービス提供者が安心して安全に働ける職場環境も重要な視点である。本講義ではヘルスケアサービスの質について検討し、さらに質を高めるための評価にはどのような視点が必要であるかについて理解することを目的とする。具体的には1)「評価すること」、「第三者」の意義を理解する、2)「質」を測定することの意義を理解する、3)利用者中心のヘルスケアサービスはどうあるべきかについて検討する。以上のことを踏まえ、Ⅱでは「福祉サービス評価法」について学習する。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. 福祉サービスの質について理解する。
  2. 福祉サービス評価方法について理解する。
  3. 福祉サービス評価尺度について検討する。
  4. 利用者中心の福祉サービスの重要性について理解する。
  5. 医療サービスと福祉サービスの違いについて理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	わが国における福祉サービス評価の開始	1	講義とディスカッション
2	措置からサービスへ/介護保険制度	2	講義とディスカッション
3	高齢者サービス評価：認知症高齢者グループホーム	3	講義とディスカッション
4	高齢者サービス評価：特別養護老人ホーム	3	講義とディスカッション
5	高齢者サービス評価：介護老人保健施設	3	講義とディスカッション
6	高齢者サービス評価：訪問介護/居宅介護支援/デイサービス/ショートステイ	3	講義とディスカッション
7	高齢者サービス評価：軽費老人ホーム	3	講義とディスカッション
8	障害者サービス評価：身体障害者（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイ・通所授産施設・小規模通所授産施設・更生施設・入所授産施設）	3	講義とディスカッション
9	障害者サービス評価：精神障害者（ホームヘルプサービス・生活訓練施設・福祉ホーム・通所授産施設・小規模通所授産施設）	3	講義とディスカッション
10	障害者サービス評価：知的障害者（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイ・グループホーム・通所授産施設・通所更生施設・入所授産施設・入所更生施設）知的障害児	3	講義とディスカッション
11	障害者サービス評価：重症心身障害児（通所・入所）	3	講義とディスカッション
12	認可保育所/認証保育所 評価	3	講義とディスカッション
13	母子生活支援施設/婦人保護施設 評価	3	講義とディスカッション
14	医療評価との違い	4	講義とディスカッション
15	海外における福祉サービス評価の現状：Aged Careを中心に	5	講義とディスカッション

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない。			
参考書	随時紹介する。			
その他の資料	必要に応じて授業内に配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
①出席、②授業内レポートや積極的な参加度、 ③試験成績の総合的評価	本科目に関する内容は現在動きの激しい分野であるので、政策や医療・福祉をめぐる社会動向を把握するように心がけること。